

くりのみ広場

くりのみ広場 令和7年夏秋号 (No.69)

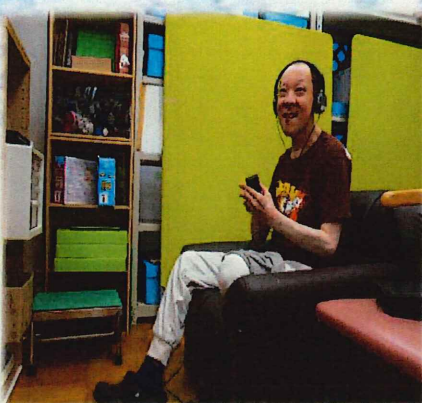
発行・編集：社会福祉法人四幸舎和会 大阪府豊能郡能勢町下田尻20番地 TEL 072-735-2212 FAX 072-735-2213

発行責任者：大崎年史

夏秋号の★キラキラさん

毎号 元気に輝く利用者を キラキラさん として 紹介します！

夏秋号は くりのみ園 です



YouTube みて
ま〜す



自転車こいでま〜す

index

事業部長より・法人だより	事業部長のちょっときいてください	P2～3
事業所めぐり	夏の事業所の様子を紹介します	P4～5
職員コラム	くりのみ園スタッフより	P6～7
お知らせ・寄附紹介・ひとこと		P8

事業部長の ちょっと 聞いてください！

～周りにあわせて行動することが協調性



事業部長 大嶋 基

唐突ですが、皆さん、「協調性って大事！」と思いませんか？

大嶋さん急に何を言い出すんですか？・・・そりゃ、そうですよ。なんなら何事にも大切です。特に仕事では必須じゃないですか！という声が聞こえそうです・・・

最近ちょっと思った「協調性」について聞いてください(笑)

先日「最近周りにあわせて行動できないスタッフが多くてね。やっぱり協調性のあるスタッフが欲しいよね」という話を耳にしました。

私はえっと思ってしまったんですが、皆さん、違和感ありませんか。協調性のあるスタッフが欲しいのは私もそうです。四幸舎和会も求める人材像に協調性のある人っていうワードが入ってきます。

じゃ、周りにあわせて行動できることが協調性でしょうか。

求める人材像にあげるくらいですから「協調性」について考えてみたことがあって。

ちょっと、個人的見解をお聞きください(笑)

よく似た言葉で「協力」という言葉がありますね。これは、個々の力を集結させることかなと思います。ということはすでに目的や目標は決まっている感じでしょうか。

では協調はどうでしょう。私は、まだまだ意見が出そろっていない、意見が違うなど、目的や目標など定まっていない、そんな段階で使う言葉かなと思っています(※もちろん、決まったあとでも協調する場面はあると思います)

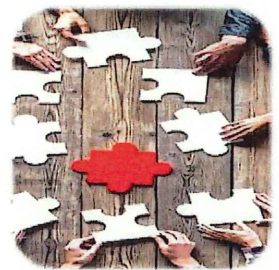
そうなんです。

協調性っていうのは、周りにあわせること、指示に従うこと、いい行動をすることではないと思うんです。

組織やチームの中で意見やアイデアを出す、相手の意見やアイデアを聞く、そして、どんな目的や目標を立てるか、どうしたら実現できるかを考えたり工夫したりできることが協調性！だと思うんです。

付け加えると、そこに相手と自分の想いや感情があって、それをどう扱うかを考えることができること！も協調性だと思います。

仕事をしていくことについてはこの協力も協調もとても大事だと思いますが、私の中では協調の次に協力があるのかなというイメージです。すこし、怖いなど思っているのは、表面上同じ行動をしていることだけをとって、協調性があるという判断や評価は少し違うのかなと思ったりしています。もしかするとその行動は協力かもしれません。



さて、個人的に協調性は管理監督者がより発揮するものだと思います。なぜか・・・スタッフの想いに気づいたうえで、自分の意見や想いを(適切な形で)示し、一緒に考え、工夫し、目的や目標を明らかにすることが協調性だとすると、きっとそうですよね。

皆さんはどう思われますか・・・

法人だより

様々な形で当法人とご縁のある方に、ご意見やご提言をいただくコーナーです。今回は後援会である Shikousya サポートクラブが解散されましたので、元役員の皆様に、これまでの活動を振り返った、今のお気持ちを聞かせていただきました。

2000年4月に開設されたくりのみ園は26年になり当時はくりのみ園だけの会でしたが、現在は、くりのみ園以外に作業所やグループホーム等が出来て北摂地域にとって障がい者の活動拠点になって居ります。後援会活動は、当初は家族会の中で支援と協力を行って居りましたが、途中から“Shikousya サポートクラブ”として活動して参りました。しかし、会員は高齢化し新たな会員の入会等が無く活動ができなくなりましたので、今年の総会を持って解散になりました。

長年に渡りサポートクラブに支援と協力をいただきました地域の皆さんや会員に改めて御礼を申し上げます。

Shikousya サポートクラブ元会長 矢野 利一

皆さま、長い間サポートクラブへの温かいご支援、本当にありがとうございました。おかげさまで、四幸舎和会に多くの資金をお届けすることができ、今日の施設の姿になっていることを心よりうれしく思います。

残念ながら役員の高齢化が進み、役員を担ってくださる若い方も見つからず、今年4月にサポートクラブは解散しました。長年続いてきた活動の幕を閉じることは、とても名残惜しい気持ちでいっぱいです。

思い返せば、くりのみ園建設の場所選びの頃から関わらせていただき、地元自治会の会合で建設の目的を切実に訴えてきました。くりのみ園が完成し、開所式では開式の辞を述べさせていただきました。

これからも、四幸舎和会のますますのご発展と、入所者の健やかな生活を心よりお祈り申し上げます。

Shikousya サポートクラブ元役員 赤羽根 充男

理事長よりお礼

後援会からスタートされ18年間にわたる寄附金総額は、11,636,645円に上ります。

この間、法人として、新たな事業展開を進める中で、既に、備品購入等に使わせていただいています。今後、事業を継続していくために、大切に使う所存です。

18年のご苦勞に心より感謝申し上げます。

事業所めぐり

くりのみ園



おいし〜い



つめた〜い

おやつにかき氷を食べました。暑い日が続いていたので、みんな大喜び!!



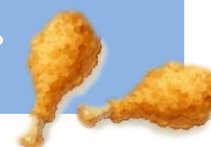
おおざとの赤いやね



おおざと・かたやま
開所日イベントの様子です



うちわを作りました。
とっても上手にできました。
昼食は、冷やし中華とフライドチキンです。



かたやまの赤いやね



生地をこねています



学生ボランティアの協力を経てピザづくりをしました。



学生ボランティアに協力していただきました。
ハート棟恒例 ♡♡
流しそうめんです。





産休・育休を経て

くりのみ園 支援員 三石 美緒

気がつけば入職して 9 年目に入っており、10 年目の節目を前に今回初めてコラムを書かせていただきます。何について書こうか考え、ここ数年で出産・育児という大きな出来事があったため、産休・育休に入る時と、育休が明け復職した今について書かせていただこうと思います。

私が休暇に入ったのは 3 年前で、このことは法人のホームページにも載せていただきました(22 年 6 月)。当時は、ハート棟という女性の生活棟で勤務しており、担当利用者も受け持っていました。妊娠中も現場に入っていました、周りのスタッフのフォローだったり、妊娠後期は新人スタッフの指導で身体に負担が無いよう



3年前

に配慮してくださり、休暇に入るまで問題なく働くことができました。休暇に入るにあたり、私が担当していた業務を引き継がなければならなかったため、資料を作成したり直接伝えるなどして引き継ぎを行いました。また、ご家族さんへも休暇に入ること、担当スタッフが変わることを連絡させていただきました。

一人目の出産後、1 年育休を取り、一度復職しました。ですが、その時には二人目を妊娠しており、2 カ月足らずで再び休暇に入りました。当時の復職では、期間も短く妊婦ということから、現場ではなくフォロー(課題作成や資料作成など)を中心に行っていました。



現在

そして現在、二人目の育休が明け 5 月より復職しました。約 3 年現場を離れていたこと、時短での復職であったため、ハート棟の現場には戻らず、くりのみ園に日中おられる利用者の支援をしていくことになりました。具体的には、過ごし方の一つとして自立課題の作成や見直しを行ったり、普段の支援では行き届かない部分を支援しています。例えば、ある利用者は、家では YouTube を観て過ごしていたと聞いたため、作業室でもタブレットを購入し楽しみとして YouTube を観る機会を作りました。またある利用者は、気分転換を含め外気浴に出たり、認知面の維持のため自立課題を作成したりしました。復職してからは、ハート棟にいた時に一部の場面(オーラルケアや食事介助)以外関わりが少なかった利用者を支援しているため、利用者本人がどんな人なのか、何が好きで嫌いなのか、何が得意で不得意なの

かを知るところから始めています。知っていくうちに新たな発見があったり、今はできるのかなど疑問点が出てきたりしました。これらを踏まえ過ごし方を考えていくのですが、専門知識も必要で、休暇の間使うことが無かった脳の一部を必死に呼び起こしています。そんな日々は、とても頭を使い大変ですが、リハビリになっています。それでも自分に足りない部分や分からない部分も多くありますが、その方と関わりが多いスタッフに聞いたり、通所されている生活介護事業所のスタッフに聞いたりしながら、情報を多く得ることができ、とても助かっています。情報を集め過ごし方を提供するまでは大変ですが、うまくいけば達成感を感じています。また一回で上手いかななくても、失敗を他のスタッフと共有し、「じゃ次はどうか」など相談する事ができ、お互いの知識の修得にもつながっていて楽しいです。



復帰して4カ月、育児と仕事で一日があつという間に終わっていきます。子どもたちの笑顔に癒されながら、両方ほどよく力を入れたり抜いたりして、日々過ごしていこうと思います。

スタッフから一言

ちょうど三石さんが産休に入る前、大阪府体制整備事業（コンサルテーション）と一緒に受けていました。初めは、コンサルテーションに気持ちが構えてしまっているようでしたが、楽しく参加していた様子を思い出しました。支援の意欲も上がり自分の成長を感じられている最中で産休に入っていったのを今でも覚えています。

復帰した三石さんは親としての凛々しさを兼ね備え、期待に応えるように自分の役割に徹してくれています。子育ての疲れもあるだろうに仕事ではそんな姿も見せずに、むしろ手を抜くことなく真摯に利用者に関わってくれています。自分にできることは最大限現場に還そうという気持ちが伝わるような姿勢で業務に励んでくれています。こんな素敵なスタッフとまた一緒に仕事ができることを本当に嬉しく感じています。

当法人ではこれまでに産休育休から復職したスタッフが活躍しています。その存在が働きやすい職場環境、風土を培ってくれているのだと感じています。

三石さんも今後その一員に加わり、法人の価値を高めてくれるよう期待しています。

くりのみ園 支援係長 樹 宣明

＝お知らせ＝

社会福祉法人 四幸舎和会
公開講座・実践報告会

理解・表出・共感... 本人の意思を支えるということとは？
豪華ゲストと共に一緒に考え、学びましょう！

内 容

日時 2025年11月29日（土）13:00～17:00

会場 池田市市民文化会館 コンベンションルーム

登壇者紹介

- 小田桐早苗先生（川崎医療福祉大学）
「行動から考える利用者の意思とは」
- 種村祐太先生（NPO法人発達障害サポートセンター・ピュア）
「理解と表出の両輪での意思決定」
- 戸波ほのか氏（社会福祉法人 南山城学園）
「PECSを活用した共感の支援」
- 主催者 実践報告（四幸舎和会）
「強度行動障がいのある方の意思決定支援」

お申込み・ご案内

- 定員：100名
- 参加費 2,000円（当日現地支払い）
- お申込み方法
QRコードもしくはFAXから

お問い合わせ

- メール info@shikousya.jp
- 電話 072-731-3030

裏面
スケジュール
会場アクセス

主催 社会福祉法人 四幸舎和会

スケジュール

- 12:15 受付開始（池田市文化会館 コンベンションルーム）
- 13:00 開会のあいさつ
- 13:05 オープニング講演 小田桐早苗先生（川崎医療福祉大学）
- 14:05 ゲスト講演 種村祐太先生（発達障害サポートセンター・ピュア）
- 15:05 休憩
- 15:20 ゲスト実践報告 戸波ほのか氏（南山城学園）
- 15:55 主催者実践報告（四幸舎和会）
- 16:30 講師による講評・質疑応答
- 17:00 終了

会場アクセス

会場：池田市市民文化会館 コンベンションルーム
住所：大阪府池田市天神1-7-1
アクセス方法：阪急宝塚線「石橋阪大前駅」西出口より徒歩約8分
駐車場：敷地内に駐車場あり（満車時は近隣コインパーキングをご利用ください）
※講座内容について会場への問い合わせはご遠慮ください

その人らしいをいっしょに探す
主催 社会福祉法人 四幸舎和会

＝寄附・寄贈のご紹介＝

佐向 紀子	様	10,000 円
Shikousya サポートクラブ	様	830,495 円
信井 真知子	様	100,000 円

★四幸舎和会のホームページ

URL <http://shikousya.jp>



＝ひ・と・こ・と＝

7月にお休みをいただきロサンゼルスに行ってきました♪夢だった MLB 観戦！メジャーリーガーの迫力あるプレーが間近で見ることが出来てとても幸せでした♡旅自体は楽しかったのですが、海外に行くとコミュニケーションの難しさを感じます。何と言え伝わるのか？現地の方が何と言っているのか分からない…正直不安な気持ちになります。普段関わる利用者もこんな気持ちなのかな？と思いました。そんな環境でも便利だと私が感じたのはレストランなどの注文で写真が載っている時、それに番号が振ってある時です。指差しをしたり番号を言えば相手に伝わるのでとても便利でしたし、それがあっても少しほっとしました。



そのように支援現場でも利用者の分かることをアセスメントし、留意していくことで安心した生活に繋げることができるのではないかと身をもって感じました。

おおざとの赤いやね 支援主任 高田 まり